

3 事業概要

	予算額	〈収入〉	〈支出〉
		予算額: 164,733,345	124,806,201 円
 海老名市社協イメージキャラクターEくん		前年度予算額: 150,023,913	114,804,507 円
		●市補助金収入 109,083,958 円 ●負担金収入 252,000 円 ●受取利息配当金収入 2,000 円 ●雑収入 3,000 円 ●取崩収入 600,000 円 ●繰入金収入 5,667,606 円 ●繰越金収入 49,124,781 円 ●人件費支出 101,651,804 円 ●事務費支出 9,839,760 円 ●助成金支出 40,000 円 ●固定資産取得支出 1,020,000 円 ●積立資産支出 3,056,000 円 ●予備費支出 1,000 円 ●繰入金支出 9,197,637 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標3-基本施策(1)・(3)⇒(104)

地域福祉の旗振り役としての役割を果たすため、下記の6事業を実施します。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(101) 理事会等	●法人の業務執行の意思決定を行うため理事会を開催します。 ●会長及び常務理事は、職務の執行状況を理事会に報告します。 ●監事による監査(適正な法人・業務運営が行われているか)を実施し理事会で結果報告をします。 ●評議員選任・解任委員会を開催し、評議員の選任・解任を行います。 ●役員、評議員の改選期となるため、新たな役員、評議員候補者の推薦を行います。	理事会 6・6・10・12月・3月 (全5回予定) 監査 5月 評議員選任・解任委員会 7月・12月	354,960 前年度 204,000 (74.0 %)
(102) 評議員会	●議決機関として、法人の業務執行体制(理事・監事等の選任・解任)や定款の変更を決定するとともに、計算書類の承認等を通じて、運営が適正に行われているか監視する役割を担います。 ●市内の様々な団体から選出された評議員からの意見を、事業に反映させていきます。 ●役員の改選期となるため、理事・監事の選任を行います。	6月・10月・12月・3月 (全4回予定)	327,800 前年度 224,000 (46.3 %)
(103) 職員管理	●人事考課の実施等による職員の能力開発・人材育成に取り組みます。 ●職員の人件費管理や労働安全衛生に努めます。	通年	101,615,804 前年度 89,782,101 (13.2 %)

(104) 法人運営事務	●定款に定められた法人目的を達成するため、効果的な運営を図ります。 ●職員研修や適正な評価制度の推進により、個々のスキル向上を目指し、専門職集団としての組織の基盤強化を図ります。 ●社会福祉法人の連携に向けた取り組みを促進します。 ●第6次地域福祉活動計画について推進委員会を開催し、地域福祉推進に向けた進行管理を行います。 ●専門家との連携により、法人会計業務の正確な遂行に努めます。 ●災害時における社協職員の対応と役割を踏まえ、平常時から減災対策や災害時の緊急対応の体制を整備・推進します。	通年	10,253,000 前年度 9,741,532 (5.3 %)
(201) 退職金積立事業	●職員の退職に備えた積立を行います。 ●退職給与規程に基づき、該当者に退職金を給付します。	通年	3,057,000 前年度 3,170,000 (△ 3.6 %)
(202) 財政調整金 積立事業	●財源の不足や、災害・事故などの突発事項に備えた積立金の運用を行います。	前年度 (4.7 %)	〈収入〉 49,124,781 〈支出〉 9,197,637 11,682,874 (△ 21.3 %)



	予算額	予算額: 3,099,159 円
		前年度予算額: 3,904,676 円
	●会費収入 1,862,159 円 ●分担金収入 0 円 ●共同募金配分金収入 480,000 円 ●広告料収入 0 円 ●繰入金 0 円 ●繰越金 757,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(4)⇒(402)・基本目標3-基本施策(1)⇒(403) 基本目標3-基本施策(3)⇒(401) (402) (403)
福祉や社協について、理解・協力を深めるために、福祉に関する情報等を幅広く提供します。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(401) 広報啓発事業	●福祉活動に関する情報を提供し、福祉に関する理解を促進するため、社協えびな「ぬくもり通信」を、年3回発行し自治会配布をします。 ●ホームページによる福祉情報の提供及びSNSによる社協事業や地域福祉活動の紹介を行います。 ●市民まつりで福祉に関する啓発を行うほか、共同募金についても啓発や募金活動を行います。 ●市民等に最新の社協活動を紹介するため、パンフレット(社協のしごと)を改訂します。	●広報紙 (7月・10月・2月) ●HP・SNS (随時更新) ●市民まつり (11月)	前年度 2,291,460 3,110,965 (△ 26.3 %)
(402) 顕彰事業	●「福祉のまちづくり表彰式典」として福祉功労者等の表彰を行い、福祉啓発を進めます。 ●ボランティア活動や地域福祉活動等の更なる促進を目指し、顕彰規程に沿って社会福祉功労者等を表彰します。	2月	前年度 400,008 443,684 (△ 9.8 %)
(403) 会員増強事業	●自治会、企業、各種団体等の協力を得て、一般会員や賛助会員の加入促進を図ります。(自治会回覧、商工会議所会員や三師会会員等へDM送付) ●賛助会員については、商工会議所等の協力をいただき、企業の加入促進を図ります。(商工会議所ニュースに賛助会員加入案内のチラシ封入等)また、新たに事業を開始した福祉関係事業所について確認を行い、賛助会員への加入促進を図ります。 ●積極的に地域に出向き、市民や企業の方々に会費の使いみち等について説明を行い、社協事業の賛同者の増強に努めます。 ●賛助会員になってくださった企業等に対し、社協への理解を一層深め、継続的な加入に繋がるよう、広報紙やパンフレットを送付します。 ●広報やHPを利用して税額控除制度を広く周知し、賛助会員の加入促進を図ります。	通年 (強化月間) 一般 5月 賛助 7月	前年度 407,691 350,027 (16.5 %)

	予算額	予算額:	1,403,000 円
		前年度予算額:	1,403,000 円
	●市補助金収入 344,000 円 ●共同募金配分金収入 1,059,000 円 ●繰入金 0 円 ●繰越金 0 円		

社協の活動に賛同し協力する団体や、福祉団体に対し、安定した活動を支援することを目的に活動費を助成します。また、今後の助成事業について検討していきます。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(501) 協力者育成事業	●社協の活動に賛同し、連携・協力して地域福祉活動を推進する6団体に対し、活動費を助成します。	5月	715,000 前年度 715,000 (0.0 %)
(502) 福祉団体育成事業	●様々な分野で福祉活動を推進している9団体に対し、活動費を助成します。(遺族会は市へ移行) ●新たな補助制度の創設に向け、市及び関係団体と調整を進めます。	5月 5月～6月	688,000 前年度 688,000 (0.0 %)



	予算額	予算額: 48,271,950 円
		前年度予算額: 44,981,761 円
	●会費収入 4,234,345 円 ●市補助金収入 4,796,000 円 ●共同募金配分金収入 2,000,000 円 ●市受託金収入 35,859,950 円 ●繰入金 1,381,655 円 ●繰越金 0 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(1)⇒(2701)・基本目標1-基本施策(4)⇒(2701)
6地区に配置された生活支援コーディネーター(SC)が、地区社協やそれぞれの地域の「ありたい地域」実現に向けて、相談助言支援を行います。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(706) 高齢者地域 ふれあい事業 【市受託事業】	●自治会が実施する高齢者地域ふれあい事業に対し、補助金交付による支援を実施します。高齢者が地域でふれあう機会とするための事業企画について自治会からの相談に対応します。	通年	24,251,120 前年度 22,716,416 (6.8 %)
(2701) 地域福祉活動 支援事業	●地区社会福祉協議会活動支援事業 ①各地域の地域目標の実現に向けて、地区担当を配置し生活支援体制整備事業の取り組みと調整しながら組織運営を支援します。 ②運営活動費について、介護保険制度の地域支援事業と調整しながら、財源の考え方について整理します。 ③新たな地区社協の設立に向けて、関係団体や機関と連携し、地域内で継続した福祉活動ができるよう組織化の支援をします。(東柏ヶ谷1) ●高齢者見守り事業 空き店舗や空き家を活用した常設のサロンに対して運営費の助成と活動支援を行います。誰でも気軽に参加できる居場所や地域課題の発見の場として地域包括支援センターや地区社協等のさまざまな機関と連携し地域力の向上を目指します。(国分寺台) ●地域力強化支援モデル事業 地区社協における地域共生社会に向けた地域力強化支援モデル事業として、多様な住民が気軽に立ち寄れる居場所の運営を行うことにより、誰もが役割と生きがいをもつ地域づくりを目指します。(大谷)	通年	12,412,000 前年度 11,655,924 (6.5 %)

(2702) 通所型・訪問型B サービス事業 【市受託事業】	【介護予防・生活支援サービス事業】 ●通所サービスB事業 要支援者を含めた通いの場として、地域住民が主体となつて実施する常設サロン事業に運営費の助成と活動支援を行います。 ・さつき町にこにこサロン(にこにこサロンさつき運営委員会) ・ふれあいかみいまサロン(上今泉地区社協「ふれあいかみいま」) ・テラスさろん(上今泉地区社協「ふれあいかみいま」) また、高齢者の外出並びに繋がり、のきかけづくりのため、サロンdeカフェ実施の助成と活動支援を行います。 ●訪問サービスB事業 ①ふれあい訪問 高齢者の見守り活動として、自宅に定期的に訪問し、ゴミ出し補助により安否確認を行います。 ②住民主体見守り活動 地域内の住民同士の支え合い、地域内の互助のしくみを支援します。	通年	7,710,416 前年度 7,318,632 (5.4 %)
---	--	----	--

(2703) サロン活動支援 事業 【市受託事業】	【一般介護予防事業】 ●地域におけるふれあいの場や、居場所づくりとして定期開催するサロンについて、介護保険制度の一般介護予防事業として位置づけ、市内全域展開をめざします。 また、繋がり、のきかけづくりのため、サロンdeカフェ実施の助成と活動支援を行います。	通年	3,898,414 前年度 3,290,789 (18.5 %)
--	--	----	---

	予算額	予算額: 24,079,201 円 前年度予算額: 24,067,540 円
	●市受託金収入 24,079,201 円 ●繰越金 0 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(1)(2)(4)
地域ネットワークづくりをはじめ、あらゆる機関との協働により、支え・支えられる(お互いさま)のしくみづくりをすすめていきます。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2901) 生活支援体制整備 事業 【市受託事業】	市域(第1層)、日常生活圏域ごと(第2層)に生活支援コーディネーター(SC)を配置します。SCは、地域の個別課題に着目し、これを他人事ではなく地域全体の課題として捉え、解決に向けて地域住民が主体となって取り組む地域共生社会の推進に向けて働きかけを行います。また、必要な社会資源について、行政や関係機関、多様なサービス提供主体と連携・コーディネート機能を発揮し、充足を図ります。 〈SCの主な役割〉 ①ネットワーク会議(協議体)の開催 ②元気高齢者を含む多世代の活動の場づくり ③関係者間のネットワークの構築 ④地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	通年	24,079,201 前年度 24,067,540 (0.0 %)

	予算額	予算額: 5,332,284 円
		前年度予算額: 4,260,136 円
	●共同募金配分金収入 1,945,570 円 ●市受託金収入 2,502,710 円 ●利用料収入 90,000 円 ●雑収入 80,000 円 ●繰入金 264,004 円 ●繰越金 450,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(3)⇒(804) (805)・基本目標1-基本施策(4)⇒(801)
ボランティア活動促進のため、人材育成・情報発信・地域福祉活動との連携を行います。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(801) 福祉体験学習事業	●ふくし教室 市内13の小学校の児童を対象に福祉意識の向上を目的に「ふくし教室」を開催します。 ●出前福祉講座 地域・企業などへ講師を派遣し、福祉に関する学びや体験のできる「出前福祉講座」を実施します。 ●夏休みユースボランティア活動体験 夏休み期間中に中学生以上の学生がボランティアに興味を持つきっかけとなるよう、様々なボランティア活動体験プログラムを実施します。また、体験後は、ボランティアセンターに登録し、継続したボランティア活動ができるように促します。 ●ふくしのまちづくりポスターコンテスト 福祉に関心を持ってもらう為に、市内の小・中学生を対象とした「ふくしのまちづくりポスターコンテスト」を実施します。	通年 夏季	824,844 前年度 643,566 (28.2 %)
(804) 地域ボランティア育成事業	●ボランティア相談・調整機能の充実 ボランティアセンターに寄せられた相談以外にも、SCによって集約された地域住民の困りごとや地域イベントの要望等に柔軟に対応するとともに、新たなボランティアを発掘・育成し、地域事業などの活動に積極的につなげていきます。 ●企画講座 ボランティア活動に興味のある人を対象とした企画講座を開催し、受講後も継続して活動のできる場につなげていきます。 ●介護ボランティアポイント制度「えびな元気お裾分けクラブ」【市受託事業】 高齢者自身の健康増進・介護予防を目的に、ボランティアなど社会貢献活動の調整をします。また、クラブ員向け研修を実施して活動やクラブ員同士の交流も促し、新たな活動場所の拡大も図ります。 ●福祉機器・地域活用物品貸出事業 福祉機器や地域イベントで活用できる機器を貸出します。 ●「第11回えびなボランティアフェスタ」の開催 ボランティア活動の普及啓発及び総合福祉会館の利用促進を目的に、文化会館・図書館・小田急電鉄等との共同企画事業(めぐみ町フェスティバル)の一環として開催します。 ●ふれあい交流会の開催 障がい者に対する理解促進とボランティア活動のきっかけとして、連絡協議会と協働開催します。 ●ボランティアセンター運営委員会の開催 ボランティアセンターの適正な運営を図るために開催します。 ●ボランティア活動の依頼や登録者管理に、kintonの活用に向けた検討をします。	通年 夏頃 通年 通年 11月9日 (予定) 秋季 12月頃 通年	3,674,440 前年度 2,923,570 (25.7 %)

(805) ボランティアグループ活動助成事業	● ボランティアグループ活動の活性化を目的として、ボラ連に加盟している7団体に対し活動費を助成します。	6月	833,000
			前年度 693,000 (20.2 %)

	予算額	予算額:	149,430 円
		前年度予算額:	149,040 円
	● 共同募金配分金収入 149,430 円 ● 繰入金 0 円 ● 繰越金 0 円		

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(6)・基本目標3-基本施策(2)	
災害発生時の対応・協力体制の整備のため、海老名市及び災害ボランティアネットワークと連携・情報共有を図ります。	

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2801) 災害救援活動事業	● 災害四者会議の定期開催 市及び災害ボランティアネットワークと新たにボランティア連絡協議会を加え、平時からの連携強化と災害発生時の災害救援ボランティアセンターの円滑な運営について検討するため、定例的に災害四者会議を実施します。 ● 災害救援ボランティアセンターの開設準備 ・大規模災害に備え、市・災害ボランティアネットワーク・ボランティア連絡協議会と協力し、シミュレーション訓練を実施します。 ・市民及び関係団体に対し、災害救援ボランティアセンターの役割等を周知していきます。	隔月	149,430 前年度 149,040 (0.3 %)
		通年	

	予算額	予算額: 1,300,000 円
		前年度予算額: 1,300,000 円
	●共同募金配分金収入 1,300,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標3-基本施策(1)・(3)

地域福祉の推進を図るため、共同募金会海老名市支会と連携しながら共同募金の啓発及び募金拡大に努めます。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(1001) 共同募金運動事務	●共同募金会海老名市支会と連携しながら赤い羽根及び年末たすけあい募金の啓発活動を実施します。 ●商工会議所等の協力をいただき、企業等の募金活動への協賛や法人募金について協力が得られるよう、積極的に働きかけます。 ●市内企業に協力いただき、啓発物品を活用するなど、実施方法を工夫しながら募金運動の拡大に努めます。	10月 12月	400,000 前年度 400,000 (0.0 %)
(1101) 年末たすけあい 援護事業	●地域福祉の推進を図るため、地域で自主的・先駆的に福祉活動を実施する団体やグループ等に対し、年末たすけあい募金を財源として、活動費及び整備費を助成します。 ●福祉団体育成事業との一本化に向けて検討を進めます。	8月	900,000 前年度 900,000 (0.0 %)

	予算額	予算額: 23,171,419 円
	前年度予算額:	19,811,494 円
	●市補助金収入 3,559,000 円 ●共同募金配分金収入 491,147 円 ●市受託金収入 12,527,000 円 ●県社協受託金収入 2,198,900 円 ●利用料収入 1,715,000 円 ●繰入金 2,680,372 円 ●繰越金 0 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(5)・基本目標2

判断能力が不十分であってもその人らしく地域で生活を送れるよう、相談支援機関と連携を図りながら、権利擁護体制を推進します。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(1201) 権利擁護事業	●判断能力の不足により、福祉サービスの利用手続きや支払いが困難な方に対し、福祉サービスの利用支援・日常的金銭管理サービス・書類等預りサービスを提供することで本人らしい生活ができるように支援をしていきます。【日生】 ●日常生活自立支援事業では個々に合わせた支援を行い、権利擁護が図れるようにしていきます。 ●社協の特性である地域福祉のネットワークや、市民後見人との連携を活用し、本人らしい暮らしを実現できるよう支援します。また、多様化・複雑化する課題に対して、関係機関と連携しながら課題解決に取り組みます。【法人後見】 ●法人後見では身上監護において、ご本人の考えを尊重し、生活状況や健康状態に配慮しながら支援していきます。 ●安定した収入預貯金があり、家賃等を支払うことができるが、高齢等により民間賃貸住宅への入居に困窮している方への入居相談及び入居後の見守り支援を行います。【居住支援】	通年	10,644,419 前年度 7,608,000 (39.9 %)
(1204) えびな成年後見・総合相談センター事業 【市受託事業】	【成年後見推進機能】 地域の一次相談機関である地域包括支援センターや障がい相談支援事業所と連携し、成年後見制度活用を推進します。 (情報共有会議・受任調整会議・連絡協議会の開催) (市民向け講演会の開催)(専門職による相談) 【権利擁護機能】 その人らしさの暮らしの実現のために、関係機関とネットワークを形成し支援体制の検討をします。(アドバイザー派遣事業)(ネットワーク研修会) 【総合相談機能】 制度や分野に捉われない生活上の諸問題の相談を受け、さまざまな機関と連携し解決への方策を検討します。 【市民後見人養成及び市民後見人の選任、監督機能】 市民後見人の活躍の場を増やせるように、市民後見人の受任要件を検討します。 また受任者への監督機能、市民への普及・啓発を行います。 (市民後見人バンク登録・活動の相談支援・スキルアップ研修・市民後見人の出張出前講座) 【後見制度の利用促進・中核機関】 海老名市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、中核機関として、さらなる後見制度の利用促進のため行政や関係機関との連携を強化して行きます。 【制度周知】 成年後見制度を周知するため、施設や団体などで積極的に説明会を行っています。	通年	12,527,000 前年度 12,203,494 (2.7 %)

	予算額	予算額: 21,795,460 円
		前年度予算額: 16,492,287 円
	●会費収入 343,496 円 ●市補助金収入 612,000 円 ●市受託金収入 18,175,964 円 ●利用料収入 1,704,000 円 ●繰入金 0 円 ●繰越金 960,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(2)

高齢者・障がい者の外出・移動支援を目的に、有償送迎サービスやぬくもり号・さくら号の運行を実施します。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(1603) 移送サービス事業	●交通機関を単独で利用することが困難で車両の乗降に見守りが必要な方に、登録制・事前予約で「セダン型」(自家用車)による、有償送迎サービスを実施・充実します。(福祉有償運送法適用) ●ボランティアドライバーの確保、利用料金体系の見直しを検討します。 ●ボランティアドライバー会員の安全運行と充実を図るためにドライブレコーダーを貸与します。	通年	2,659,496 前年度 2,175,395 (22.3 %)
(1605) 高齢者等外出支援 車両運行事業 【市受託事業】	●高齢者や障がい者等の外出機会を増やし、買い物支援や健康増進につなげることを目的に、9人定員ワゴン(乗合制・予約なし)で指定ルートを定期巡回する「ぬくもり号」を運行します。(上今泉ルート1台) 【運行日】 月～土(日曜・祝日・年末年始・荒天時は運休) ●東柏ヶ谷地区において、高齢者や障がい者等の地域のつながりや介護予防・余暇支援を目的に、地域移動便「さくら号」を運行します。(北ルート・南ルート合わせて1台) 【運行日】 北ルート:火・木・土 南ルート:月・水・金 (日曜・祝日・年末年始・荒天時は運休)	通年	19,135,964 前年度 14,316,892 (33.7 %)

	予算額	予算額: 2,694,000 円
		前年度予算額: 2,553,000 円
	●市補助金収入 1,844,000 円 ●利用料収入 470,000 円 ●繰越金 380,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(4)・基本目標3-基本施策(1)

市内在宅福祉サービスを担う人材の安定的な確保を目的として、同行援護従業者養成研修を実施します。また、介護職員初任者研修、介護支援専門員又は主任介護支援専門員の新規資格取得及び更新の研修を修了し、指定の要件に当てはまる方に対し、就労支援金の交付を実施します。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(1604) 福祉人材育成事業	●視覚障がい者の外出を支援する専門職を育成するために「同行援護従業者養成研修」を実施します。(全身性・知的障がい者ガイドヘルパー養成研修と隔年実施) ●同行援護従業者養成研修では市内在住者には受講料の助成を行います。 ●市内の介護施設に従事する人材の確保と定着を図るため、介護職員初任者研修、介護支援専門員又は主任介護支援専門員の新規資格取得及び更新の研修を修了し、指定の要件に当てはまる方に対し、就労支援金の交付を実施し、就労を支援します。	同行援護 11月 支援金 通年	2,694,000 前年度 2,553,000 (5.5 %)

	予算額	予算額:	6,796,392 円
		前年度予算額:	6,511,468 円
	●市補助金収入 225,042 円 ●県社協受託金収入 2,319,700 円 ●償還金収入 651,650 円 ●小口生活資金特例償還金収入 1,900,000 円 ●繰入金 0 円 ●繰越金 1,700,000 円		

〈地域福祉活動計画〉基本目標2

一時的な生活困窮世帯に対して生活再建をめざし、県社協との協力により資金の貸付を行います。
また、制度に該当しない相談者の自立に向けた支援体制づくりを検討していきます。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2001) 生活福祉資金貸付 事務 【県社協受託事業】	●低所得者世帯、失業者世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、安定した生活のため、県社協の貸付制度により、資金の貸付及び相談支援を行います。 ●経済的な理由により、学びたい学校に入学することができない、授業料を納めることができず卒業、進学ができないなど、一定の所得以下の世帯に対して、必要な経費を教育支援資金として貸し付けします。	通年	3,699,700 前年度 2,603,700 (42.1 %)
(2101) 小口生活資金貸付 事業	●低所得者世帯及び失業者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長のため、緊急に必要とする一時的な生活資金の貸付及び援護指導を行います。 ●行旅人に対し、旅費の貸付を行います。	通年	3,096,692 前年度 3,907,768 (△ 20.8 %)

	予算額	予算額: 1,941,000 円
		前年度予算額: 1,751,000 円
	●寄附金収入 1,340,000 円 ●受取利息配当金収入 1,000 円 ●取崩収入 0 円 ●繰入金 100,000 円 ●繰越金 500,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標3-基本施策(3)

市民等から寄せられる寄付金品の受入や寄付者の意向に沿った寄付金の配分、安定的、継続的事業の財源基盤を強化するための基金積立を行います。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2201) ふれあい基金 運営事業	●寄付金及びふれあい基金を有効に事業等に配分します。 ●地域貢献型(寄付金対応)自動販売機設置を促進し、財源の確保に努めます。	通年	1,341,000 前年度 1,201,000 (11.7 %)
(2202) つながりアクション 事業	●制度だけでは解消できない狭間の課題を包括的に受け止め、関係機関と連携しながら、相談者の自立や生活向上を目指し支援します。食の支援等も検討・実施します。	通年	600,000 前年度 550,000 (9.1 %)



国際ソロプチミスト海老名からのご寄付

	予算額	予算額: 8,822,367 円
		前年度予算額: 7,211,309 円
	●市受託金収入 ●繰入金 ●繰越金	8,722,367 円 0 円 100,000 円

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(2)

高齢者の体力の維持向上及び地域交流の促進を図りながら、介護予防の普及啓発を目的として、各地域で健康教室を実施します。また、生活支援コーディネーターと連携を図りながら、住民主体の取り組みが地域に根差すことを目指し支援していきます。

事業名	事業概要等			時期	事業費[円]
(1803) 介護予防普及推進事業 【市受託事業】	●体力の維持・向上及び地域交流の促進を図りながら、介護予防の普及啓発を目的に、より身近な地域で健康教室を実施します。また、地域住民と協働し介護予防の取り組みを促進し、会場ボランティアのコーディネートや、CD、DVDの提供、体操表の配布など、継続しやすい仕組みづくりを進めます。			通年	8,822,367
					前年度 7,211,309 (22.3 %)
	会場	曜日	時 間		
	社家自治会館	第1・3(月)	10時～11時30分		
	大谷コミセン				
	国分北集会所	第1・3(火)	10時～11時30分		
	上郷自治会館	第1・3(水)	10時～11時30分		
	本郷コミセン	第1・3(木)	10時～11時30分		
	門沢橋コミセン	第1・3(金)	10時～11時30分		
	中新田自治会館		13時30分～15時		
	柏ヶ谷コミセン	第2・4(月)	10時～11時30分		
	杉久保コミセン				
	勝瀬文化センター	第2・4(火)	10時15分～11時30分 ※開館時間9時45分(15分遅く)のため1時間15分開催		
	国分中央自治会館	第2・4(水)	10時～11時30分		
	上今泉コミセン		13時30分～15時		
	あいあい館	第2・4(木)	10時～11時30分		
	中新田コミセン	第2・4(金)	10時～11時30分		
	総合福祉会館	第1・3(木)	13時30分～15時		
		第2・4(火)			
		第2・4(木)			
	新規会場	調整中	調整中		



	予算額	予算額: 21,001,024 円
		前年度予算額: 22,069,758 円
	●市受託金収入 21,000,000 円 ●受取利息配当金収入 24 円 ●雑収入 1,000 円 ●繰入金 0 円 ●繰越金 0 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標2	
市民・関係機関への医療・介護等の情報発信、地域包括ケアシステムの強化を目的に基幹型地域包括支援センターを運営します。	

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2502) 基幹型地域包括支援センター事業 【市受託事業】	●市民、関係機関が海老名市の医療・介護・社会資源の情報を一元検索し活用できるよう、海老名市医療・介護・地域資源総合検索システム(えびケアナビ)の運営・管理を行います。地域支援グループと連携し、市民が必要とする情報を適宜更新し多くの市民に活用してもらえるよう 周知活動に努めます。 ●市内6地域包括支援センターの統括、対応困難事例等後方支援を行います。 ●地域包括ケアシステム構築に向けて、地域包括支援センター、在宅医療相談室、生活支援コーディネーター、介護支援事業所、成年後見総合相談センター等関係機関との連携強化を図ります。また、介護予防のための地域ケア個別会議や、地域の課題解決に向けて地域ケア推進会議を開催し、市民が自立にむけてつながり続ける継続的支援を目指します。 ●認知症施策の普及啓発(認知症サポーター養成講座等)や、認知症サポーターの交流会を開催し、地域の活動の場へ参画し新たな場を創出する等市民の方と共に支援していく体制を構築していきます。	通年	21,001,024 前年度 22,069,758 (△ 4.8 %)

	予算額	予算額: 29,331,400 円
		前年度予算額: 25,655,400 円
	●市受託金収入 25,769,000 円 ●事業収入 76,400 円 ●利用料収入 85,000 円 ●受取利息配当金収入 1,000 円 ●繰越金 3,400,000 円	

海老名市の指定管理制度に基づき、指定管理者として福社会館の施設維持管理運営を行います。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2301) 総合福社会館管理 運営事業 【市指定管理事業】	●適正な福社会館の管理運営 会館予約システムやホームページ・Instagram等を有効に活用しながら、利用促進と利便性の向上に努めます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流し、生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりのきっかけとして、企画講座等を実施します。 ●「第11回えびなボランティアフェスタ」の開催 文化会館・図書館・小田急電鉄との共同企画事業(めぐみ町フェスティバル)の一環として、ボランティア活動の普及啓発及び総合福社会館の利用促進を目的として、えびなボランティアフェスタを実施します。	通年	29,331,400 前年度 25,655,400 (14.3 %)

	予算額	予算額: 14,869,589 円
		前年度予算額: 16,912,296 円
	●自立支援給付費収入 13,937,322 円 ●利用者負担金収入 131,267 円 ●受取利息配当金収入 1,000 円 ●繰越金 800,000 円	

〈地域福祉活動計画〉基本目標1-基本施策(5)

障がい者の居宅における日常生活を支援するため、ホームヘルプサービス及びガイドヘルプサービスを行います。

事業名	事業概要等	時期	事業費[円]
(2601) 障害福祉サービス事業	●障がい者(身体、知的、精神)に対し、居宅介護計画に基づき、訪問介護員が家事援助、身体介護及び同行援護・移動支援等のサービスを行います。 ●障がい者の在宅における支援ニーズに対応するため、関係機関と連携強化を図り、障がい者の自立に向けたサービスを提供します。	通年	14,869,589 前年度 16,912,296 (△ 12.1 %)

事業名	事業概要等
神奈川県共同募金会 海老名市支会事務局	●赤い羽根共同募金及び年末たすけあい募金を実施します。
海老名ゆめクラブ 連合会事務局	●高齢者の仲間づくりを通じた、健康増進や生きがいづくり活動を推進します。また、社会参加活動に取り組みます。



ゆめクラブ神奈川マスコットキャラクター
YuちゃんとMeちゃん